

# Game Report

開催場所：日本経済大学

試合区分：第 26 回全九州大学バスケットボールリーグ戦

試合期日：2019 年 11 月 2 日(土)

試合時間：10：00～

CC：樋口 俊司

U1：紀伊 孝哉

U2：片岡 瑞希

福岡大学	○ 78	14	—1st—	15	● 70	東海大学九州
		19	—2nd—	22		
		22	—3rd—	11		
		23	—4th—	22		

## 第 1 クォーター

序盤、両チームとも得点が決まらない状況が続くが、福岡大は#3 2 片山のドライブから #4 1 野口のゴール下のシュートなどで得点を重ねていく。対する東海大はスティールから速攻へもっていき#7 7 田中の3Pシュート、#5 荒牧のドライブなどで得点を重ねる。福岡大は#4 1 野口のインサイドプレーでバスケットカウントをもらいチームを勢いづけるが序盤の固い入りのせいで得点が伸びず、14-15の東海大リードで第1クォーターを終える。

## 第 2 クォーター

第1クォーター同様、序盤は得点が決まらない時間が続く中、福岡大#6 大関、#15 成崎のドライブで口火を切る。東海大は#0 岩崎のドライブからの#18 松岡への合わせや、#0 岩崎の華麗なレイアップシュートで連続得点を決める。流れを変えたい福岡大は残り6:25タイムアウトを請求する。その後、福岡大は#10 賀谷、#16 川口の連続バスケットカウントで流れを渡さない。その後も一進一退の攻防が続く、33-37の東海大リードで前半を終える。

## 第 3 クォーター

序盤、福岡大は#10 賀谷、#3 2 片山の3Pシュートが立て続けに決まり逆転に成功する。流れを止めたい東海大は7:01タイムアウトを請求する。その後、東海大#18 松岡のインサイドプレーで攻撃を組み立て得点を重ねるが、福岡大#10 賀谷、#15 成崎が3Pシュートを決めリードを広げる。終盤、福岡大#16 川口がリバウンドを確実に取り東海大は流れを掴むことが出来ず48-55の福岡大リードで第3クォーターを終える。

## 第 4 クォーター

追いつきたい東海大は第3クォーター同様#18 松岡のインサイドプレーを中心に得点を重ねる。対する福岡大は#16 川口のバスケットカウント、#4 1 野口の果敢なインサイドプレーで得点を伸ばしていく。これ以上離されたくない東海大は残り5:40タイムアウトを請求する。その後、東海大は#18 松岡のドライブや#0 岩崎、#7 7 田中の3Pシュートで点差を縮めていく。福岡大も負けじと3Pシュートを積極的に狙っていくが、ゴールに嫌われ中々得点が決まらない。追いつきたい東海大は#5 荒牧のミドルシュート、#0 岩崎のドライブで得点を重ねるが、第3クォーターの点差が響き、78-70で福岡大が勝利した。